

# 切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 5月1日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2019年	1,730	35	
		2020年	1,123	40	
		2021年	1,383	26	
		2022年	1,044	69	
		2023年	1,343	41	
	5ヵ年平均	1,325	40		
	2024年見通し	1,300	43		
概要	愛知中心の入荷。上旬は母の日需要もあり、M、S中心に引き合いは強い見込み。中旬以降は品種の切り替わりが始まり、入荷量も増加してくる。出荷が落ち着くまでは苦しい販売もありそう。				
小 ぎ	実績	2019年	1,050	26	
		2020年	997	26	
		2021年	836	20	
		2022年	811	44	
		2023年	813	25	
	5ヵ年平均	901	28		
	2024年見通し	800	28		
概要	沖縄、愛知からの入荷。上旬は母の日の需要で動きは活発な見込み。中旬からは夏品種に切り替わってくる。愛知産は上旬は施設物なので少なめ、中旬以降は露地物の出荷も始まるが、量的には少ない。				
カー ネー ション	実績	2019年	1,600	43	
		2020年	1,410	47	
		2021年	1,443	44	
		2022年	1,418	53	
		2023年	1,547	54	
	5ヵ年平均	1,484	48		
	2024年見通し	1,500	50		
概要	愛知、輸入を中心に入荷。国産は母の日需要に向け順調。輸入は前年並だが、複色系の変わった色目は品薄予想。				
か す み	実績	2019年	230	65	
		2020年	178	59	
		2021年	183	81	
		2022年	221	76	
		2023年	250	74	
	5ヵ年平均	212	71		
	2024年見通し	220	75		
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。4月の前進傾向を受け、上旬は少ない見込み。母の日以降は緩やかに減少していく。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等				数量 千本	単価 円/本
ゆり	実績	2019年	300	140		
		2020年	266	114		
		2021年	250	148		
		2022年	237	168		
		2023年	260	158		
	5カ年平均		263	145		
	2024年見通し		260	155		
概要	高知、宮崎、埼玉、新潟中心の入荷。宮崎産が前年より多くなる予想であるが、他県は前年並の入荷の見込み。					
洋らん	実績	2019年	350	80		
		2020年	212	92		
		2021年	272	86		
		2022年	263	116		
		2023年	252	101		
	5カ年平均		270	94		
	2024年見通し		250	100		
概要	愛知、鹿児島、静岡、徳島などの国産及び輸入品が入荷する。コショウランは台湾産に加え、中国産の入荷も見込む。カトレアはピークを越え、微減。デンファレはアンナと白が減少し、ソニア中心となる。オンシジウムはGWで通関等のみだれから入荷不安定。シンピジウムは国産は徐々に終了し、輸入待ち。					
ばら	実績	2019年	960	72		
		2020年	616	69		
		2021年	740	78		
		2022年	855	89		
		2023年	895	81		
	5カ年平均		813	78		
	2024年見通し		850	85		
概要	愛知、岐阜、三重を中心に長野、山形の高冷地も入荷する。中旬には母の日需要、下旬にかけてはローズの日とイベントが続く。暖冬気味だったこともあり、多少前進傾向。					
枝も	実績	2019年	1,400	47		
		2020年	924	53		
		2021年	1,097	56		
		2022年	1,209	64		
		2023年	1,204	64		
	5カ年平均		1,167	57		
	2024年見通し		1,180	60		
概要	スモークツリーが始まり、ドウダンなど山取品の引き合いは例年以上に強い。上旬のイベント、端午の節句の花ショウブは例年より少なく、高単価。香ショウブは順調に出荷があり、姫リョウブなども増加する。中旬からはケイトウなどの出荷も始まる予定。気温も上がり、花持ちが悪くなる時期となる。					

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	2019年	21,489	720	
		2020年	20,587	648	
		2021年	20,402	813	
		2022年	25,109	688	
		2023年	33,708	700	
	5カ年平均	24,259	711		
	2024年見通し	29,500	720		
概要	<p>入荷量は前年よりかなり少ない。5号鉢主体の出荷は例年と変わらないが、近年4号鉢以下の出荷が増え始めている。母の日需要の高まる上旬に出荷のピークを迎え、中旬以降の出荷量は大幅に減少する。発色良く花立ちの良いピンク・黄色が人気を集め、母の日の5月上旬が最も引き合いが強くなる見込み。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースでのシェアで1位長野(44.0%)、2位埼玉(16.3%)、3位新潟(11.4%)となっている。</p>				
ファレノ	実績	2019年	48,013	2,448	
		2020年	28,625	2,364	
		2021年	28,365	3,412	
		2022年	38,053	2,570	
		2023年	40,114	3,157	
	5カ年平均	36,634	2,765		
	2024年見通し	40,000	3,150		
概要	<p>入荷量は前年並。人件費、資材等の生産コストが上がったことにより生産量が減っている。ミディは母の日などの物日でも単価の伸び悩みがあり、出荷量は減る見込み。母の日定番のミディ2Fは少ない見込み。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(55.5%)、2位熊本(10.5%)、3位静岡(6.4%)となっている。</p>				
バラ	実績	2019年	75,290	312	
		2020年	70,193	265	
		2021年	67,313	302	
		2022年	70,190	284	
		2023年	73,716	306	
	5カ年平均	71,340	294		
	2024年見通し	73,000	308		
概要	<p>入荷量は前年並。前年同様に母の日が遅い年回りなので、中旬まで需要が継続し中値安定が見込まれる。5号以下の小鉢中心の動きになる。3月の低温・低日照の影響で生育遅れが一部発生している。一気に気温が上がる時期なので咲き前と水管理に注意した出荷をお願いしたい。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(45.7%)、2位岐阜(41.3%)、3位新潟(4.2%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ン ジ ア	実 績	2019年	280,059	872	
		2020年	231,310	816	
		2021年	234,934	958	
		2022年	246,542	947	
		2023年	339,499	947	
	5カ年平均		266,469	910	
	2024年見通し		338,000	1,006	
概要		<p>入荷量は前年並。母の日が前年より2日早い分、前倒し出荷が増えると予想され、5月上旬までは前年より微減の見込み。今年は生産ロスが多い情報もあり、母の日以降の下旬に向けての入荷状況は減少の見込み。5号中心の取り扱いが多く、近年の新品種も褐色系の玉アジサイ・額アジサイと八重系の品種は引き合いが強い。多品種小ロット生産がより一層増えており、前年以上に小鉢の生産も増えてきている。相場は前年より厳しい予想である。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(54.3%)、2位群馬(12.6%)、3位埼玉(8.8%)となっている。</p>			
ス パ テ ィ フ ィ ラ ム	実 績	2019年	18,779	291	
		2020年	17,592	311	
		2021年	16,217	344	
		2022年	13,981	428	
		2023年	13,561	325	
	5カ年平均		16,026	336	
	2024年見通し		14,000	330	
概要		<p>入荷量は前年をやや上回る。4号から6号といった鉢物より、ポットものが中心の出荷が見込まれる。単価は前年並。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(48.9%)、2位愛知(25.0%)、3位静岡(14.8%)となっている。</p>			
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	2019年	363,009	443	
		2020年	215,562	502	
		2021年	237,366	548	
		2022年	260,109	541	
		2023年	406,474	534	
	5カ年平均		296,504	511	
	2024年見通し		405,000	531	
概要		<p>入荷量は前年並。前年同様に母の日が遅く、なおかつ、2月の天候が良かったため、抑え気味の管理で調整していたが、3月の天候不順でやや生育遅れを懸念する物も見受けられる。事前販売もここ数年より苦戦しており、生産・販売ともに苦労しそう。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(56.3%)、2位群馬(22.6%)、3位福島(4.1%)となっている。</p>			